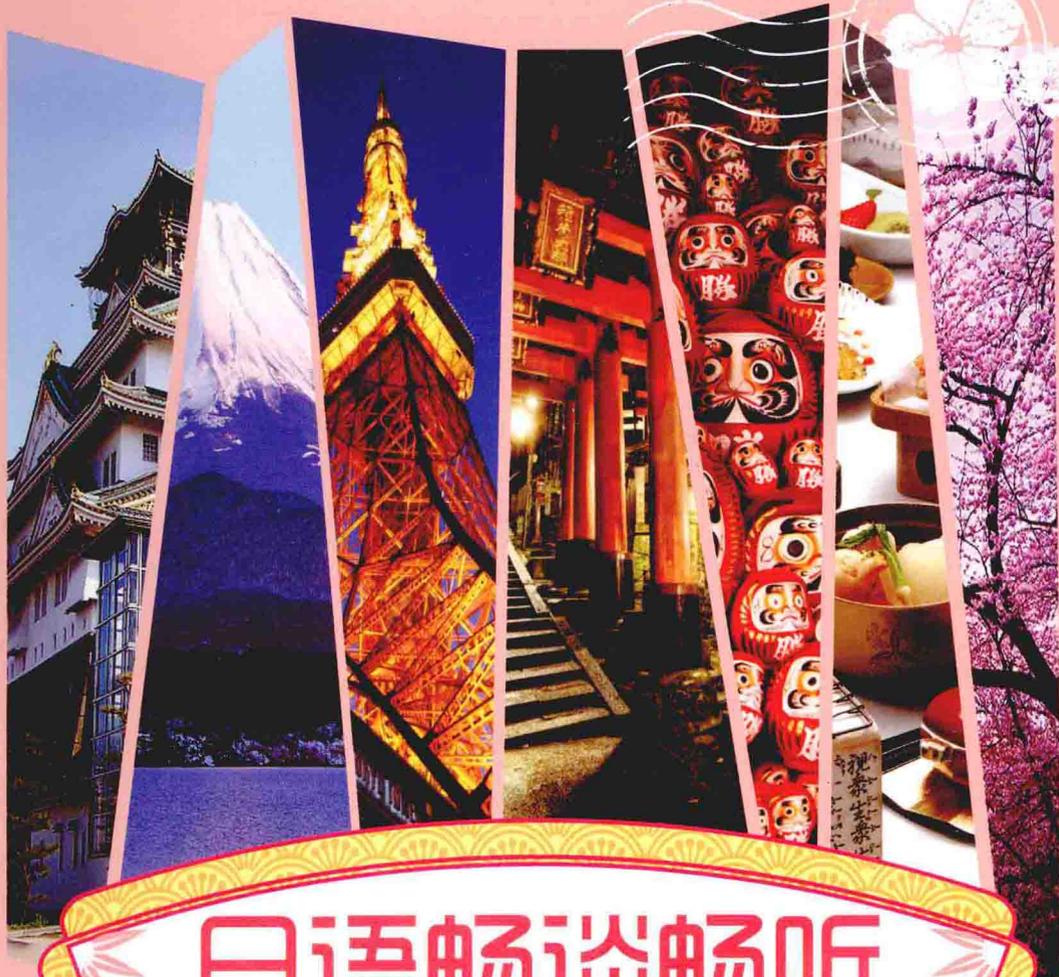


编著/王冲



日语畅谈畅听 日本文化

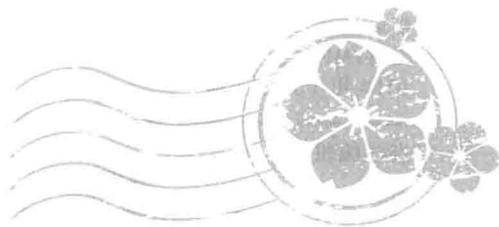


大连理工大学出版社
Dalian University of Technology Press

赠送
MP3光盘

日语畅谈畅听 日本文化

编 著 / 王 冲



大连理工大学出版社
Dalian University of Technology Press

图书在版编目(CIP)数据

日语畅谈畅听日本文化：汉日对照 / 王冲编著. —
大连：大连理工大学出版社，2014.1

ISBN 978-7-5611-8360-1

I. ①日… II. ①王… III. ①日语—汉语—对照读物
②文化—介绍—日本 IV. ①H369.4: G

中国版本图书馆CIP数据核字(2013)第168640号

大连理工大学出版社出版

地址：大连市软件园路80号 邮政编码：116023

发行：0411-84708842 邮购：0411-84703636 传真：0411-84701466

E-mail: dutp@dutp.cn URL: http://www.dutp.cn

辽宁星海彩色印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸：168mm × 235mm	印张：13.25	字数：480千字
附件：MP3光盘1张		印数：1~4000
2014年1月第1版		2014年1月第1次印刷

责任编辑：张晓燕

责任校对：杨丹

封面设计：赵珂源

ISBN 978-7-5611-8360-1

定 价：28.00元

前言

一海之隔的国度……

“语言”是被生活在社会中的人们所赋予了意义、功能的声或字。它既是人类内心世界的外在表现，又是社会的产物，与文化有密切的关系。因此在学习一门语言时不仅要学习它的声与字，还要学习其中所蕴含的璀璨文化。如今学习日语成为一种潮流。学习者在学习日语这门与汉语同样拥有汉字的语言时，也要深入其背后，探求这个国家在发展过程中所积累的深厚文化。

日本这个被日本人称为日出之国的国家以其独特的地理条件和悠久的历史，孕育了别具一格的日本文化。提到它，人们很容易想到弥如烟云的浪漫樱花、高贵典雅的传统和服、和静清寂的精致茶道、精挑细选的风味美食、精打细算节能减排的日本人……但是你知道这些吗？日本人舌尖上的遗憾是什么？什么是足不出户的享受？关东和关西不同在哪儿？食草系是形容什么的？独特的东瀛文化一直吸引着众多日语学习者和爱好者的眼球，也掀起了一股追求日流文化的热潮：情人节之后的白色情人节，街头巷尾的日本料理店，遍布网络的“写真”、“人气”等词语，冬天的短裤裙子等等。在这样一个追捧日流文化的时刻，一本详细介绍日本文化的书籍——《日语畅谈畅听日本文化》，在众多同仁、学者、师生的大力支持及帮助下编著成功。

本书共由6个单元、66篇话题文章组成。从日常生活、风俗习惯、节日庆典、传统文化、休闲时尚、社会百态6个单元对日本文化进行了详尽的描述。每篇话题文章包括一个以对话形式展开的浅显易懂的“文化沙龙”和与之衔接的“文化广场”，均附有中文翻译，并标注有假名。“文化沙龙”和“文化广场”各自独立又互相联系，由浅入深，从易到难，循序渐进地为读者展现了日本文化的迷人之处。既开拓视野，又增长知识。读者在快乐阅读了解日本文化的同时又学习了这门语言。本书的写作素材主要来源于编者多年海外旅居的切身体验，以及对相关文献材料的精心考究，力争让读者能够身临其境地感受到多元化的日本风情，同时又能学到地道的口语表达，可谓一箭双雕。

本书在编撰过程中，得到了龙居洋、朱一平、王颖、方圆、阿部天飞、王天音等人士的大力支持与帮助，编者在此表示诚挚的感谢。

从新干线的车窗远眺富士山顶的皑皑白雪，驻足上野公园仰起头静静轻嗅樱花的芬芳，身着色彩亮丽的浴衣观看照亮夜空的烟花大会，手持酒杯坐在热闹的居酒屋中品味沁人心脾的清酒……这个与中国只一海之隔的国度一定会给你带来另一番感受……

编者

2013年12月

目录

第一章 日常生活

- ① そのままが一番——生ものが好きな日本人
原生态至上——爱吃生的日本人 002
- ② おしゃれ=忍耐？——冬のミニスカート
时尚=忍耐？——冬天的迷你裙 005
- ③ 永遠に衰えない——人気のある国民食
经久不衰——日本国民人气食品 008
- ④ 何でもある——百円ショップ
麻雀虽小，五脏俱全——百元店 011
- ⑤ サラリーマンの憩いの場——居酒屋
工薪族的休息地——居酒屋 014
- ⑥ 舌の悲しみ——食べられなくなるいろいろな魚
舌尖上的遗憾——各种鱼荒 017
- ⑦ 高い環境意識——ややこしいゴミ分別
高度的环保意识——细致的垃圾分类 020
- ⑧ 生活の宝箱——サービス豊かなコンビニ
生活百宝箱——多功能的便利店 023
- ⑨ 香しい香りと淡麗な味わい——日本酒
沁人心肺，醇香入口——清酒 026
- ⑩ 家庭でも楽しめるレストランの味——出前
全家人足不出户享受餐馆美食——外卖 029
- ⑪ 注意深い日本人——日常生活の中の禁忌
“小心翼翼”的日本人——日常生活中的禁忌 032
- ⑫ タブーが多い——お箸の使用
忌讳多多——筷子的使用 035
- ⑬ 踏んではいけない——畳の縁
禁止踏足——榻榻米边框 038

第二章 风俗习惯

- ⑭ 奇数と偶数の違い——数字の学問
奇数和偶数的不同——数字的学問 042

15	日本人は節約家ですか、浪費家ですか 日本人让人纠结——是“节俭”还是“浪费”？	045
16	リラックスな一時——風呂好きな日本人 轻松一刻——喜欢泡澡的日本人	048
17	年末年始の国民のイベント——年賀状 年末·年初统一的国民行动——贺年卡	051
18	贈り物——お中元とお歳暮 年节送礼——“中元礼物”和“岁末礼物”	054
19	値段より気持ち——贈り物の学問 礼轻情义重——送礼的学问	057
20	ケチな日本人——割り勘 “小气”的日本人——AA制	060
21	情緒溢れる温泉王国——湯の楽しみ 温泉王国的温泉情结——泡温泉之乐	063
22	ぺこぺこする——礼儀正しい国 点头哈腰——礼仪之邦	066
23	多忙な年末年始——忘年会と新年会 辞旧迎新有点忙——忘年会与新年会	069
24	東西の組み合わせ——結婚式 东西结合——结婚仪式	072
25	生命の終点——葬式 生命的终点——葬礼	075

第三章 节日庆典

26	一年の始まり——お正月 新年伊始——正月	079
27	独立宣言——成人式 “独立宣言”——成人仪式	082
28	女の子の祝典——ひな祭り 女孩子的庆典——女儿节	085
29	ロマンチックと悲しみはそれぞれ——バレンタインデー&ホワイトデー 几家浪漫几家孤愁——情人节与白色情人节	088
30	たくさん実家に帰ろう——母の日と父の日 常回家看看——父亲节与母亲节	091
31	夏のクリスマスツリー——七夕 夏日圣诞树——七夕	094
32	民族の大移動——お盆 民族大移动——盂兰盆节	097

33	子供の楽しみ、恋人のロマンチック——クリスマス 孩子的期待，情人的浪漫——圣诞节	100
34	カレンダーの赤い日——国民の休日 日历上的红日子——国民休息日	103

第四章 传统文化

35	夏の風物詩——花火大会 夏日风景——焰火大会	107
36	男性で支えている世界——歌舞伎 男子撑起的“整片天”——歌舞伎	110
37	日本の民族衣装——着物 日本的民族服装——和服	113
38	一期一会——茶道 一生只遇一次——茶道	116
39	優美な仮名文字——書道 优美的假名文字——书法	119
40	美の探究——生け花 对美的寻求——插花	122
41	人気の国技——相撲 人气十足的日本国技——相扑	125
42	毎年の恒例——花見 年年“乐此不疲”——赏樱	128

第五章 休闲时尚

43	青春の夢——甲子園 交响少年梦——青春甲子园	132
44	血液で人を分ける——血液型信仰 以血鉴人——血型信仰	135
45	世界に羽ばたく——日本のマンガ 风靡全球——日本动漫	138
46	日本の「春晚」——紅白歌合戦 日本的“春晚”——红白歌会	141
47	日本人の自慢——富士山 日本人的骄傲——富士山	144
48	日本発の世界の娯楽——カラオケ 日本原创的世界娱乐——卡拉ok	147

49	勝っても弾く、負けても弾く——パチンコ 成也弹子，败也弹子——弹子房	150
50	お金持ちになる夢を見る日本人——宝くじ 做着发财梦的日本人——彩票	153
51	電気街からおたくの街へ——秋葉原 从电器街到“宅男”街——秋叶原	156
52	単一民族は単一ではない——関東と関西 单一民族不单——关东和关西	159
53	国民の口癖——「かわいい」 全民口头禅——“可爱”	162
54	おしゃれな男性——草食男子 时尚男生——食草男子	165
55	感情伝達の武器——顔文字 传递感情的神器——颜文字与绘文字	168

第六章 社会百态

56	男余り——男性の結婚難 阴盛阳衰？——日本男子为婚狂	172
57	3Kと新3Kさらに7K——職業への偏見 3K与新3K以及7K——职业偏见	175
58	新人のうつ——五月病 “新人”们的忧郁——五月病	178
59	職務を忠実に行う——過労の日本人 忠于职守——过劳的日本人	181
60	釘の精神——超満員電車 “钉子精神”——超员电车	184
61	家族の一体化——夫婦同姓 家族“一体化”——夫妻同姓	187
62	日本の国民病——花粉症 日本的国民病——花粉症	190
63	備えが肝心——地震 时刻准备着——地震	193
64	うっとうしい季節——梅雨 阴郁的季节——梅雨季节	196
65	路上生活者——ホームレス 路边生活者——流浪汉	199
66	遣り繰りをする——省エネ 精打细算——节能	202

第一章

日常生活

- ① そのままが一番——生ものが好きな日本人
原生态至上——爱吃生的日本人
- ② おしゃれ=忍耐？——冬のにミニスカート
时尚=忍耐？——冬天的迷你裙
- ③ 永遠に衰えない——人気のある国民食
经久不衰——日本国民人气食品
- ④ 何でもある——百円ショップ
麻雀虽小，五脏俱全——百元店
- ⑤ サラリーマンの憩いの場——居酒屋
工薪族的休息地——居酒屋
- ⑥ 舌の悲しみ——食べられなくなるいろいろな魚
舌尖上的遗憾——各种鱼荒
- ⑦ 高い環境意識——ややこしいゴミ分別
高度的环保意识——细致的垃圾分类
- ⑧ 生活の宝箱——サービス豊かなコンビニ
生活百宝箱——多功能的便利店
- ⑨ 香しい 香りと淡麗な味わい——日本酒
沁人心肺，醇香入口——清酒
- ⑩ 家庭でも楽しめるレストランの味——出前
全家人足不出户享受餐馆美食——外卖
- ⑪ 注意深い日本人——日常生活の中の禁忌
“小心翼翼”的日本人——日常生活中的禁忌
- ⑫ タブーが多い——お箸の使用
忌讳多多——筷子的使用
- ⑬ 踏んではいけない——畳の縁
禁止踏足——榻榻米边框



いちばん なま す にほんじん
そのまものが一番——生ものが好きな日本人

原生态至上——爱吃生的日本人

1

ぶんか
文化サロン

文化沙龙

将所学的知识应用到一个实景会话中，在感受文化碰撞的同时，体会其在口语表达中的实际用法。

惠美：日本料理を食べたことがありますか。

王雪：ありますよ。この間、初めて刺身を食べましたよ。

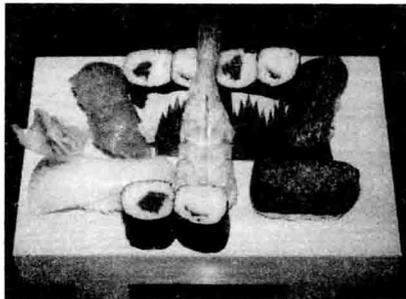
惠美：そうですね。生ものは大丈夫ですか。

王雪：ええ、最初はすこし抵抗がありましたが、食べてみたら美味しかったですよ。

惠美：よかったですね。日本料理の特徴のひとつは、材料をなるべく新鮮なまま料理に活かすということです。日本列島は海に囲まれており、新鮮な魚が入手できるため、生のまま食べる料理として刺身やお寿司などが人気のある料理となっています。

王雪：そうですね。中華料理だと材料を必ず加工しますが、これとは対照的と言えますね。刺身は、魚を適当な大きさに切り、醤油をつけて食べますが、この料理は、いかに優れた材料を見分け、うまく切るかが板前の腕の巧拙を分けると聞いたことがあります。

惠美：ええ。伝統的な日本の食文化を支えてきた日本人の料理感では、料理とは、食品に加えるべき手を最小限にとどめ、なるべく自然に近い状態で完成させるべきだと考えられています。日本



人は、刺身が最も洗練された食べ物だと考えています。ですから、刺身などの生魚の料理は、伝統的の日本料理の王座を守ってきました。

王雪：なるほど。ほとんどの日本人は、外国人は刺身が食べられないと思い込んでいますが、最近ではアメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、東南アジアなどでも、寿司や刺身は流行ってきており、生食が好きな外国人が大変増えてきています。ところで、外国人の好みは日本人とは違うようです。例えば、ほとんどの日本人は、マグロの赤身やトロが好きなのですが、中国人はたいていサーモンが好きなのです。

惠美：へー！面白いですね。

王雪：でも、私は、馬刺と生卵はどうしても食べられません。

惠美：你吃过日本料理吗？

王雪：吃过。前几天第一次吃了生鱼片。

惠美：是吗。你能吃生的吗？

王雪：可以。刚开始有点不习惯。尝试着吃了后就觉得很好吃。

惠美：那太好了。日本料理的一个特点是充分有效地利用新鲜的材料。日本列岛周围环海，可以捕获到新鲜的鱼类，作为生吃的菜肴，很受欢迎的是生鱼片和寿司。

王雪：哦。中国菜一定要对材料进行加工，可以说这与日本料理形成了一个鲜明的对比啊。生鱼片是把生鱼切成适当的大小，蘸着酱油吃。听说如何辨别生鱼片材料的优劣、如何切生鱼都体现着一个厨师的技艺优劣。

惠美：对。支撑着传统的日本美食文化的日本人的料理理念是，对食品进行最小限度的加工，尽量保持食品的最自然的状态。生鱼片就是这样的理念下诞生的最精炼的食物。所以生鱼片这样的生鱼料理一直占据着传统日本料理的首位。

王雪：原来如此。很多日本人都认为外国人吃不了生鱼片。可是最近在美国、欧洲、澳大利亚、东南亚等地，寿司和生鱼片都很流行，喜欢吃生食的外国人也越来越多了。不过，外国人的口味与日本人的不同。比如说多数日本人喜欢吃金枪鱼的瘦肉部分或是脂肪多的部分，而中国人大都喜欢吃三文鱼的生鱼片。

惠美：是吗？真有意思。

王雪：不过，无论如何我还都吃不了生马肉和生鸡蛋。

疯狂地听，专注地读，理解全文并感悟你所不知道的日本文化。



寿司は日本の代表的な料理のひとつですが、起源は日本ではありません。一説によれば、1200年前頃に東南アジアに生まれ、中国經由で日本に伝わったと言われています。当時の寿司は、魚を米と一緒に漬け込んで発酵させた保存食でした。「熟れ鮓」といい、米を食べずに、酸っぱくなった魚だけを食べてました。そして、江戸時代(1603~1867)に酢を使うようになり、ご飯と一緒に食べるようになりました。しかし江戸(今の東京)では江戸湾で取れた新鮮な魚の生の切身をのせ、手で握って寿司を作りました。これが「江戸前寿司」で、現在世界中で日本の寿司といっているものはこのことです。関西では「押し寿司」といって、木の箱の中に酢を混ぜたご飯を入れ、魚の切身などをのせ、上から押しつけて固く締めて作るものもあります(例えば、鯖寿司、鱒寿司)。最近では回転寿司のような家族連れでも気軽に入れる店も増えており、寿司は高級なイメージからますます身近な存在になってきたようです。

虽然寿司是日本料理的代表之一，但起源并不是日本。有一种说法是，大约1200年前，寿司起源于东南亚，然后经中国传入日本。当时的寿司是把鱼和大米一起腌制、发酵而成的保鲜食品，叫“鱼里饭寿司”，不吃米，只吃变酸了的鱼。到了江户时代(1603-1867)，人们开始使用醋，鱼和饭一起吃。但是在江户(现东京)，人们把从江户湾打捞上来的新鲜的鱼切成小块放在米饭上，用手捏成寿司。这种“江户前寿司”就是现在流行于世界的“日本寿司”。在关西有“模压寿司”，把拌有醋的米饭放在木盒里，再放上鱼肉片，从上面压紧制作成寿司(比如青花鱼寿司，鲭鱼寿司)。最近，像回转寿司店这样的，即使是一家人也能够轻松享受美味的店也增多了。寿司也从人们心目中的高级料理变成了大众料理了。

2

おしゃれ=忍耐?—冬のミニスカート

时尚=忍耐?—冬天的迷你裙

1

ぶんか
文化サロン

文化沙龙

将所学的知识应用到一个实景会话中，在感受文化碰撞的同时，体会其在口语表达中的实际用法。

惠美：外は真白ですね。

王雪：きれいですね。何年ぶりの大雪でしょう。ところで、寒くないですか。今日もそんな薄着で。

惠美：大丈夫ですよ。

王雪：すごいですね。日本人は本当に寒さに強いんですね。よくテレビや漫画で、真冬でも素足で超ミニスカートの制服を着ている女子学生を見ますが、なぜ冬の制服もミニスカートなのですか。寒くないのでしょうか。

惠美：確かに日本の女子学生の大部分の制服はセーラー服で、冬でもスカートです。しかし、彼女たちのスカートは基本的に膝上までで、学生によっては短いスカートが可愛いからということで、学校が終わってから化粧しつつ頑張って巻き上げているだけです。これが、皆さんの目にする日本の女子学生の不思議な超ミニスカートだと思います。実はあれは校則違反のところが多いですよ。

王雪：そうなんですか。それにしても素足で穿くのは寒そうですね。私には無理ですよ。

惠美：日本人は小さい頃から半ズボンとスカートで鍛えられているため、冬にスカートをは



いても寒さに耐えることが出来るんだと思います。また、日本は温带で海洋性気候なので冬でもそれほど気温は下がりませんし、交通機関が発達しているので純粋な屋外での活動時間が短くなります。だから、冬でもミニスカートを穿いていても問題ありません。

王雪：なるほど。

惠美：でも本当は寒くないわけではないと思いますよ。日本は寒さ対策の道具も多いです。日本の女の子達は、実はお腹に「腹巻」を巻いたり、背中やお腹に「カイロ」を貼ったり、足に防寒クリームを塗ったりと、結構努力して寒さ対策をしていますよ。だから、真冬でミニスカートでも平気なんです。

惠美：外边一片银白啊！

王雪：真漂亮。好久没下这么大的雪了。你今天还是穿这么单薄，不冷吗？

惠美：不冷呀。

王雪：真厉害。日本人真不怕冷。常常在电视和漫画上看到三九天光腿穿着超短裙制服的女学生。为什么冬天的制服是超短裙呀？不冷吗？

惠美：的确日本女学生大部分的制服都是“海军服”，即使在冬天也是裙子。但是一般女生制服的裙子都到膝盖附近。有的学生觉得短裙子可爱，就在放学后一边化妆一边拼命把裙子往上卷。大家看到的觉得不可思议的超短迷你裙就是她们此举的结果。事实上在很多学校，这是违反校规的。

王雪：是这样呀。就是这样她们光着腿也很冷啊。如果是我的话可受不了。

惠美：因为日本人从小就穿短裤、裙子，已经锻炼出来了，所以在冬天即使穿裙子也是可以耐住严寒的。还有，日本地处温带，属海洋性气候，冬天气温下降幅度不大。因交通设施很发达，在户外活动的时间比较短。所以冬天穿迷你裙基本上是没问题的。

王雪：原来如此。

惠美：不过也并不是一点也不冷。日本有很多御寒物品。日本女孩子们或者在腹部缠上“腹带”，或在背部、腹部贴上“暖宝宝”，或在腿部涂上防寒雪花膏，会采取很多御寒措施。所以三九天穿迷你裙也没关系。

2

ふんかひろば
文化広場

文化広場

疯狂地听，专注地读，理解全文并感悟你所不知道的日本文化。



東京では制服が義務付けられていない高校で「なんちゃって制服」と呼ばれる制服そっくりの私服を着て通うのがトレンドになっています。評論家によれば「制服を着用した女子高生」というのは一種のブランドです。つまり、「制服」そのものが商品価値をもっているのです。そのため

有名私立高校の制服に似たブレザーなどを着用して登校するのだといいます。かつて管理教育の象徴とされた制服も、今では女子高生だから着られる特権です。こうした動きに注目して、高校生に焦点をしばって制服風のブラウスやスカート、リボン、靴下などを揃えて売り出しているファッションメーカーもあります。

在东京的一些没有规定制服的高中，高中生流行穿一种类似制服的便服上学，这种制服被叫作“なんちゃって制服”。据评论家分析，“穿着制服的女高中生”是一种品牌的象征。也就是说“制服”本身具有商品价值。所以很多高中生穿着和有名的私立高中相似的西装夹克去学校。曾经被认为是象征管理教育的制服，如今也成为了女高中生才可以拥有的特权。一些时装商家也注意到了这个变化，以高中生为目标客户推出了制服风格的外套、裙子、领结、袜子等商品。

えいえん おとろ くに き こくみんしょく
永遠に衰えない——人気のある国民食

经久不衰——国民人气食品

1

ぶんか
文化サロン

文化沙龙

将所学的知识应用到一个实景会话中，在感受文化碰撞的同时，体会其在口语表达中的实际用法。

惠美：きのうのしんぶんを見ましたか。あさごはんを食べるしょうがくせいせいせきへいきんあさごはんを食べない小学生のより高いんですって！

王雪：へー、そうなんですか。わたしあさごはんを食べたり、食べなかったりしていますが、だめですね。

惠美：わたしちゃんと食べていますよ。今日もご飯に味噌汁、納豆。そして梅干し！

王雪：へー、日本人の定番の朝ご飯ですね。

惠美：栄養がたっぷりですよ。味噌汁は日本人の食に一番密接している料理とも言え、欠かすことの出来ない存在だと思います。

王雪：だから、日本食の定食を頼むと、必ずと言っていいほど味噌汁が出てきますね。

惠美：ええ。しかも、味噌汁はとても便利ですよ。具として大根、人参、ネギ、ジャガイモ、わかめなどなんでもいいですよ。家庭によって味も違って、その家庭の主婦のこだわりがあると言われてます。だから、昔からよく言われるのは、嫁は姑の料理を手伝うとき、味噌汁について口を挟まないほうが良いということです。

王雪：そうでか。べんきょうになりました。納豆って、大豆が発酵して糸を引き、粘り気があるものですよ。日本人はみんな納豆が好きですか。

